

## 第7回九州ブロック会議まとめ

日時 平成30年11月3日(土) 時間 10時から12時 場所 福岡県医師会館

ブロック	氏名		
福岡県	辻 祐二 立石純子 奥園弘子	福岡県訪問看護ステーション連絡協議会	理事
佐賀県	中富洋子	佐賀県訪問看護ステーション連絡協議会	理事
熊本県	木村浩美 (九州ブロック理事) 森安玲子	熊本県訪問看護ステーション連絡協議会	理事
宮崎県	岩村優子	宮崎県訪問看護ステーション連絡協議会	理事
鹿児島県	上菌妙子 田代奈津子	鹿児島県訪問看護ステーション連絡協議会	理事
大分県	平井豊美	大分県訪問看護ステーション連絡協議会	理事
沖縄県	奥間賢一朗 金城代登美 志茂ふじみ	沖縄県訪問看護ステーション連絡協議会 副委員長 学術委員 事務局	
長崎県	山口走野子 宮崎郁子	訪問看護ステーション連絡協議会	副会長

### 協議内容

(1)	地域包括ケアの中で訪問看護は重要な位置にあるが、団体としての力が弱い（認知されていない）県もあり、行政と積極的に活動している所は少ない。圏域毎に会議や研修会に参加・協力はしている。沖縄県は事務局が看護協会にあるため協働で活動している。
(2)	長崎県では研修会を実施。鹿児島県はアンケート調査実施。他県も重要性を認識しているがまだ動いていない状況。
(3)	宮崎県では災害支援ナースとして登録し、活動経験者がおり「避難所内での細やかな助言は訪問看護師の方が向いていると感じた」との意見。 沖縄県は、訪問看護師の支援場所の検討を行い福祉施設避難所等への派遣をプログラム化している。
(4)	協議会自体の組織の強化や会員増、マニュアルの充実などが不十分との意見が多い。
(5)	連絡協議会の組織内に管理者会があるのは熊本県のみ、管理者同士の交流や連絡協議会との関係性に悩む県が多い。
(6)	交流会自体はあった方がよい！で一致。時期も現状のフォーラムに合わせて九州8県で持ち回りしやすい。 運営について、簡単な規約を作り運営する方がよい。会費は徴収しない。 交流会のあり方について、①「交流」だけなら簡単な現状報告②各県の活動報告（共通のフォーム作成）③協議、②③をするなら事前に配布・募集を行う